

HADANO MEISUI

ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355
事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355
例会日 毎週木曜日 12 時 30 分～13 時 30 分
会長 鈴木和夫 幹事 山谷洋子 会報・雑誌・IT 委員長 原恵美子



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021 年～2022 年度国際ロータリー会長
シェカール・メータ

第 1781 回 2022 年 4 月 14 日 (木) 《週報》

秦野名水ロータリークラブ
秦野商工会議所 12:30

1. 点 鐘
2. 合 唱 「我等の生業」
3. お客様の紹介

ヤバタマサコ
・矢端雅子 様 (小田原 RC) zoom 参加

4. 会長の時間



○先週 4 月 7 日に開催されました理事会についてご報告させていただきます。

【審議事項】

- (1) 第 13 回秦野市親子川柳大会後援依頼
例年道り後援協力金 10,000 円、青少年奉仕委員会より支出・・・承認
- (2) ウクライナ難民支援義捐金
会員寄付金に 14,000 円加算し 30,000 円を地区に送金
国際奉仕委員会より支出・・・承認
- (3) 4・5 月例会内容変更の件
 - ①4 月 14 日 卓話時間を次年度財団補助金事業対象施設見学に充てる件・・・中止
心泉学園様の都合が良ければ有志にて例会終了後、施設見学を予定
 - ②4 月 21 日 心泉学園への「コピーボード」贈呈式、2 名来会。飯塚理事長卓話
例会終了後、次年度理事会開催予定。13:30～15:00 予定
 - ③5 月 12 日 クラブ研修会 商工会議所 4F
例会内にて時間延長で実施～15:00
 - ④5 月 19 日 夜間例会 (日中は第 7G 親睦ゴルフ大会) ゴルフ手伝い別途案内
 - ⑤5 月 26 日 通常例会 クラブフォーラム⇒卓話 (福原美千加さん)
- (4) その他
 - ①秦野市交通安全協議会より新委員選出依頼
例年幹事をお願いしているので、次年度幹事 北村まり子さんにお願いします。
 - ②2020 年 21 年度の財団寄付クラブ表彰について

エブリーロータリアン、エブリーイヤー、100%ロータリー財団寄付クラブ
表彰と言う事で、認証バナーが授与される。原郁夫財団委員長・直前会長の
神崎達朗さんに登壇をして頂く事に決定いたしました。

○先週お話をさせて頂きました「顧客と人」を育てる知恵のことば、第2弾で本田宗
一郎さん「リーダーシップ」とは目標をハッキリ見てやる事の紹介しましたが、
それににかかわる事で、目にとまりましたのでご紹介をさせて頂きます。

★リーダー心得10か条

1. 失敗は自分のせい、手がらは部下のものという意識を持とう

リーダーはその組織の責任を負う立場にあります。その組織の業務遂行がう
まくいかない時に、部下のせいにするのではなく、そのうまくいかないこと
に対策うい講じることができない自分の責任であることを認識しましょう。
そして、その時分に任せられた業務の責任うい果たすために自信が考える
最大限の努力を行い、その状況を打開するための行動を起こしましょう。そ
のような最大限の努力をし続けるリーダーからは、何がうまくいかなかった
時には「自分の責任です」と言う言葉がでてくるはず。その言葉を自然
と言えるようになった時、初めてリーダーとして回りが付いてくるように
なるのです。

しかしうまく行った時はその逆です。物事がうまく行った時に真っ先にその
手柄を自分の努力の成果としてしまうのでは、リーダーとして不適当です。
リーダーにはそれを束ねる人たち」の信頼が集らなければいけません。その
信頼を強固なものにし、組織としてのパフォーマンスを最大限引き出すには、
うまく行ったという手柄は、常に部下の努力によるものであるという事を素
直に受け止め、発信する努力が必要です。

2. 目標を明確にし、共有しよう

目標はわかりやすくし、共有してこそ達成できるものです。目標を明確にし、
それがスタッフに共有されている状態にすることが大切です。日々の作業だ
けをこなしていると、あなたのチームのメンバーは、いつしか心が折れてし
まうかもしれません。チームの目標がわかりやすく提示され、そしてそれが
メンバー全員に共有されていることがスタッフ、そして組織のパフォーマンス
を引き出すのに不可欠です。

3. 常に部下の仕事のフォローをしよう

質と量と締め切りが守られてこそ仕事は完成します。仕事の依頼をする際
には、「何を、どれだけ、いつまでに」など、相手に合わせて明確にすべきポ
イントを明確に伝えることが必要です。そして、その後、確認やフォロー
をします。

「これ、やっという」などという、曖昧で、完成希望日時も明確にしてい
ない仕事の依頼方法は、相手にとって失礼です。また、指示をしたことも忘
れているかのような「指示=完了」といった姿勢では、メンバーはその仕事に
愛着は感じられないでしょう。仮に、「自律型のチーム運営」を目指してい
るとしても、期待する成果に対する明確な共有がなければ、それは単なる
放任であり、リーダーが楽をしているにすぎません。

4. よりプロ意識を持ちプロとしての実力を身につけよう

リーダーとなる人は、よりプロフェッショナルとしての意識を高く持ち、
それに伴う知識や実力を身につけなければいけません。プロフェッショナル
というのは、より意識が高く、知識・経験が豊富であると言うだけでは不
十分で、その知識と経験から生み出すアウトプットの質が高く、そしてその
アウトプットがより短い時間で生み出されなければいけません。

よいものを時間をかけて作る事は多くの人が出来ますが、リーダーたるもの、
そりを瞬時にやり遂げる能力を身につけなければなりません。世の中には、
時間が命取りという事がたくさんあります。プロとしての実力とは、より高

いクオリティの物をより早く生み出す能力の事を指し、それを身につけることによって多くの部下を守ることができます。

5. 部下の邪魔をしないようにしよう

リーダーは、部下に働きやすい環境を提供しなければいけません。しかし、より良い環境をとというよりも、部下を信頼し、邪魔をしないということが最低限できていないといけません。部下に一生懸命働いてもらおうと願いながら、実際は邪魔をしているケースが少なからずあります。

リーダーはより知識を持ち、経験をしていることが多いため、色々なことに気づくことができます。それだからこそ、色々なことに口を出し、完全なる指示を出してしまいます。それが、つまり部下の邪魔をしていることになるのです。邪魔をしないということは、言い換えれば部下を信頼し、任せることになります。そういう態度を基本に置き、その人の自主性を尊重しつつ、気付いたことは遠慮なく注意するという関係性を築いて行きましょう。

5. 幹事報告

【ガバナー事務所より】

- ①地区研修・協議会 表彰について
- ②次年度向け 会員増強セミナー（5/14開催）
- ③2022年度米山奨学生 4月奨学金受け渡しについて
（4月21日例会を予定しております）

【受付文書】⇒無し

【例会変更】⇒無し

【本日の配布物】⇒無し

6. 記念日

- ・入会記念日
- ・会社創業記念日
- ・御結婚記念日 桐山さん（4/14）
- ・御誕生記念日（会員）
（配偶者）



（桐山さん 一言・・・おそらく55年以上なると思います。頑張って生きて行きたいと思います。よろしくお願い致します。）

7. スマイル報告

- 鈴木和夫さん「今週名水RCゴルフコンペが実施されました。HCに恵まれ、みごと久しぶりに優勝しました。気分を良くしてスマイルします。ただゴルフの上手さを表すニアピンコンテストを全て、諸星プロに持って行かれました。くやしい～！」
- 山谷洋子さん「寒暖の差が激しい今日この頃です。体調などくずしませんように気をつけましょう!!」
- 北村まり子さん「スマイルします。」
- 古谷スミ子さん「暑い日、寒い日が連続しそうです。健康に留意してお過ごし下さい。スマイルします。」
- 大屋富茂さん「先日のゴルフコンペは見事準優勝でした。1位と2位の差は大きいですネ!!」
- 神崎達朗さん「一昨日は好天の中名水ロータリーのゴルフコンペでした。成績はともかく楽しい一日でした。」
- 桐山晃忠さん「結婚後 半世紀以上続いています。記念品を戴きありがたく頂戴いたします。末長く生きて行こうと思います。」
- 原郁夫さん「スマイルします。」
- 原恵美子さん「本日2:00に会議所を出発して二宮の心泉学園を訪問します。一人でも多くの方のご参加をよろしくお願い致します。今日は久しぶりの寒さにホカロン再登場です!!」

- 東島礼美さん「桜と入れかわりに、新緑が参りました。とてもきれいです。」
 ○福原美千加さん「スマイルします。」
 ○淵脇美代子さん「心泉学園の訪問、よろしくお願いします。スマイルします。」
 ○諸星道治さん「名水ゴルフコンペ、優勝 鈴木会長、第2位大屋ガバナー補佐
 お目出とうございます。今日のスマイル楽しみにしていました。今日も矢端さん
 ズーム参加ありがとうございます。」 合計50,000円

8. 出席報告

○会員数 15名、出席義務 15名、出席数 13名、出席率 86.7%

9. 地区委員会報告

○大屋ガバナー補佐



1. 5月8日（日曜日）第7Gロータリー奉仕デーについて
 秦野名水RCは、ホストクラブとしてよろしくお願い致します。
 2. 5月19日（木曜日）第7G親睦ゴルフコンペについて
 当クラブゴルフ同好会に運営をお願いしています。
- 受付・・・4月20締め切り
 各クラブから参加者の名簿が来ます。組み合わせを
 諸星道治さんと山本裕宣さんをお願いしています。

- ・当日受付について
 ゴルフをしない方に、受付に立って頂きたいと思っております。
 併せてウクライナ難民支援の募金箱を受付に置きます。一人1,000円とお知らせ
 しておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

10. 委員会及びその他の報告

○青少年奉仕委員会 原恵美子委員長

本日2時に出発して、二宮の心泉学園を訪問します。一名でも多くの方にご参加
 していただきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

○国際奉仕委員会 諸星道治委員長

- ・外国コイン募金について
 先週ユニセフに送って参りました。
 約40キロという事で、金額については、メール
 で来ると思ひますので、お知らせしたいと思ひ
 ます。今年度はこれで終わりと考えております。



11. 卓話 古谷スミ子さん



○本日は皆様に本を紹介したいと思います。

「神様のカルテ」という本です。

最初 2010 年に出ました。本屋大賞（本屋の中で販売
 を担当している人が、投票する。）2位を取った本で
 す。

○どのようなお話かといいますと、神様のカルテというも
 のがあるのでしょうか、ないのでしょうか、ここに出てく

る主人公はお医者さんです。大学を卒業してそのまま市中の病院に就職して、研修
 医からお医者さんになった栗原一止という青年医師です。消化器内科、医師になっ
 てから5年目という設定になっております。この主人公がどのようにして成長して
 ゆくのかというお話が、この「神様のカルテ」という本です。この本は330万部
 売れている本でございます。実は映画かされております。櫻井翔さんが主演をして
 います。テレビドラマかもされており、福士蒼汰さんが主演で4回放送されました。

本の中を丁寧に描いていてその人の心とか、丁寧に描いている場面が多かった。

○舞台は松本という町でございます。その町の本庄病院という病院のお医者さんになっている栗原医師でございます。この本庄病院は、松本市の中で400床というかなり大きな病院が設定です。この病院のコンセプトは、「24時間、365日対応」する病院です。所属する部長には「大狸先生」、副部長には「古狐先生」という名前でございます。この2人の指導者を得て消化器内科の栗原医師が日々色々なことを感じながら過ごしているのが本庄病院でございます。

ある時消化器内科の先生の所に、ぐわいの悪い女性が参りました。安住さんという72歳の女性でした。調べましたら胆のうがんという病名が付きまして。部位が非常に悪くて本庄病院では手術が出来ない。信濃大学の医学部に紹介状を書きました。この紹介状を持って大学病に行ってみてください。何かいい方法があるかもしれません。大学病院では、手術はできない、あなたの余命はあと半年、ですから好きな事をして過ごしなさい。本人にもきちんと説明をしましたという大学病院からの返事でした。この返事を持って安住さんは本庄病院に再び参りました。私のガンはだいぶ大きいようです、私は大丈夫です本当の事を言ってください、私も自分の余命を知っていなければなりませんので、もう一度この病院で私の面倒をみて頂けませんかという申し出があった。私を死ぬまでおいていただきたいという安住さんの願いを聞いて入院になります。安住さんは安心したように微笑んで、しばらく病院に入る事になりました。それからの話です。

12月20日午後1時、車イスに乗った安住さんの顔色は思っていたよりも良い、セーターの上にコートをはおり、マフラーをまいて完全冬対策の装いだ、頭には赤茶けた可愛らしい毛糸の帽子、なんだか安住さんによく似合っている、「帽子似合っていますね」私の声に安住さんは嬉しそうにうなずいた、「35年も前の夫のプレゼントなんです」何と私が生まれる前の品物である、「この帽子はお墓迄持っていくんです、私が死んだときにはかぶせてくださいね」安住さんの表情には悲嘆はない、まるで次の外来を決めているような自然体である。私は黙ってうなずきました。これは安住さんやりたい事はありませんか、と来た時に、山が見たいそういう希望を出した安住さんを病院の屋上に連れていく。

下血がひどくなっていて、ベットの上で絶食、絶対安静、そういう安住さんを屋上まで連れていく風景です。看護師と栗原医師は病院の屋上に連れていきます。その時の安住さんのことばです。夫は42歳、脳溢血で急死しました。あれから30年本当に寂しい思いをして来ました。寂しい、寂しいと思いながらここまで生きて来ました、ようやく寂しさに慣れてきたら、こんな大病をし、大学の先生には見捨てられてしまい、やっぱり孤独でそれだけの人生でした。でも最後の最後にこんな時間が待っていたなんて本当に人生はわからないものです。

安住さん73歳の誕生日はもう少しですね、たいしたものではありませんか、何かやりたい事、今日は山を見ました、食べたいものはありますか、絶食をしている患者に食べたいものはありますかとこの医師は聞きました。その時の安住さんの答えは、「食べたいものが一つあります。それは東京に夫と行った時に文明堂のカステラという物です。」文明堂のカステラがこの町にも売っていました。これは安住さんの誕生日のプレゼントです。屋上に上がった時に文明堂のカステラを渡します。安住さんは文明堂の箱を握ったまま嗚咽をこらえつつ、こんなに生きている幸せになっては、夫に合わせる顔がありません。何と言っているかわかりません、震える安住さんの手を看護師がそっと握りしめていました。今の時間を少しでも楽しく、幸せに過ごしてください。私達こそ優しい安住さんの笑顔をいつもいつも見て元気をもらっているんです。これが12月20日の話です。

12月22日午後9時15分、それが安住さんの死亡時刻です。その前、モニターアラームが鳴り響きました、よくある事であるから、あわてもせずに首だけひねって病棟モニターを確認して、私は息をのんだ、300号室、脈拍低下アラーム安住さんの脈がいきなり30代まで低下した、と同時に病室から看護師の悲鳴に

近い声が聞こえた。私は病棟に飛び込んで「安住さんと叫んだ」がすでに反応はない。私はともかく 呆然としている看護師に、点滴全開叱りつけるように告げた、その時頭の中で無数の選択肢通り抜ける昇圧剤を使えば、1時間くらいは血圧が上がるかもしれない、呼吸は人工呼吸器を繋げたらしばらくは大丈夫だ、その間に輸血の準備をして大量輸血を行えば、もしかしたら持ち直すかもしれない。そこ迄考えながら、私 栗原一止はそれ以上の指示は出さなかった。このままでと安住さんが言ったような気がした、しばしば医療の現場では、患者の家族が出来る事は全てやってくれという事がある。50年前までの日本では日常のことであった。しかし今は違う、死に行く人に可能な限りの医療行為を全て行うのが何を意味するのか、人はもう少し真剣に考えなければならない、全てをやってくれ、と泣きながら叫ぶことが美德だという考えが、いい加減に捨てねばならない、可能性があるならば家族の意思など関係なく、最初から医師は全力で治療する、問題となるのは助からぬ人、つまり寝たきりの高齢者やがんの末期患者に行う医療である。つまり安住さんの様な患者の医療である。現代の驚異的な技術を用いてすべての医療を行えば、止まりかけた心臓も一時的には動くであろう、呼吸が止まっても酸素を投与できるであろう、しかしこれでどうするのであるか、心臓マッサージで肋骨は全部折れ、人工呼吸器で無理やり酸素を送り、数々のチューブをつないで回復する見込みのない人に大量の薬剤を投与する、これらの行為の結果心臓が動いている期間が数日伸びる事があるかもしれない、それが本当に生きるという事なのか、孤独な病室に器械にまみれ呼吸を続けるという事は悲惨である。今の超高度な医療レベルの世界では用意にそれが起こりえる。

こうして、栗原一止医師は高度な医療を行う事を致しませんでした。安住さんは静かにいきを引き取りました。安住さんが亡くなって連絡などをした親戚の人が来て色々な手続きをしているところで、栗原一止医師はふと思い出した事がありました。安住さんがあの屋上で言った、「この赤茶けた防止を私にかぶせてください」と言った言葉を思い出して、戸棚を開けると帽子が入っていました、その赤い帽子を安住さんにかぶせようとしたら、その中に一通の手紙が入っていました。

「拝啓 私の大切な栗原一止大先生様 先生がこの手紙を読んでいらっしゃるという事は、私はもう夫に会いに旅立ってしまった後のことなのでしょう、私にあの帽子をかぶせてくださいという約束を、忘れずにいて下さったという事です。重ね重ね感謝に堪えません。私は先生に合えたことを本当に感謝しています。ずーと神様を恨んで生きて来ました。勝手なものです、大学病院に行った時偉い先生に言われた事を思い出します、大学は安住さんのような人を見る場所ではないのです。ではどこで見てもらえば良いですか、と問うても大学の先生は困ったような顔をしているだけでした。でも私はその時すぐに先生の顔を思い出しました。きっとどこかで先生がこんな治りもしない病気のおばあさんに手を差し出して下さると私にはわかっていたんです。病むという事はとても孤独です、先生どうかご苦勞の絶えない身とは思いますが私に下さった暖かい時間をこれからも多くの孤独の人達に作ってあげて下さい。」

人間が神様のカルテを持って生まれてくる、ウクライナの皆さんはどんなカルテを持って生まれてくるのでしょうか、ロシアの爆弾で死ぬよとは書かれていなかったと思うんです。建物が崩れて、ひたじきになって死ぬよ、戦車にひかれて死ぬよそんなカルテではなかったはず。皆さんがウクライナの皆さんに、多額なご寄付を頂いてポーランドに送って頂けるということですので、神様のカルテに書かれたように死ぬるのはそれはそれで幸せですが、神様のカルテに書かれていない様な死に方をするのはとても不幸な事です。私達に出来る事、ほんのささやかな事です、みなさんと一緒にウクライナの皆さんを応援して行きたいそんな事を感じた、神様のカルテと言う本でした。

